

BOSS MODULATION MD-200

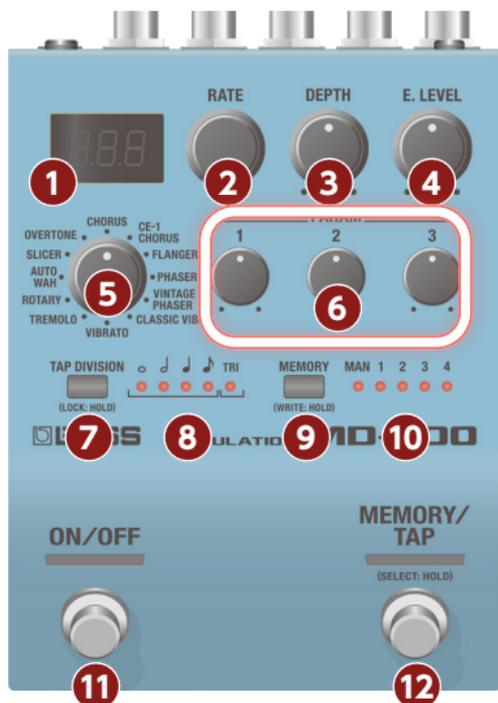
取扱説明書



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.19））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 ディスプレイ

パラメーターや設定値を表示します。

2 [RATE] つまみ

エフェクト音の変化の速さを調節したり、メモリーを切り替えたりします。

つまみを押すたびに表示が切り替わります。

レイト (周波数) → レイト (テンポ/周波数) → メモリー → レイト (周波数) ...

表示例

レイト (周波数)

0.01Hz = [0.0 1]、**1Hz** = [1.00]、**10Hz** = [10.0]

レイト (テンポ/周波数)

テンポ: 120 = [120]、**テンポ: 1000** = [1000]、**テンポ: 10000** = [10000]

※ モードが **ROTARY** のときは、スピーカーの回転スピード **SLOW** (SLOW) / **FAST** (FAST) を切り替えます。

メモリー

MANUAL = [MAN]、**メモリー-1~9** = [n-1] ~ [n-9]、**メモリー-10~99** = [n10] ~ [n99]、**メモリー-100~127** = [n00] ~ [n27]

3 [DEPTH] つまみ

エフェクト音を揺らす深さを調節します。

※ モードが ROTARY のときはリアンプの歪み具合を、スライサーのときはエフェクト音とダイレクト音のバランスを調節します。

4 [E. LEVEL] つまみ

エフェクト音の音量を調節します。

モードによっては、エフェクト音とダイレクト音のバランスを調節します。

5 モードつまみ

エフェクトを選びます。

モード	説明
CHORUS (CHO)	BOSS 最新技術によるコーラス・サウンドです。
CE-1 CHORUS (CE1)	CE-1 をモデリングしたコーラス・サウンドです。
FLANGER (FLD)	フランジング効果を作り出します。
PHASER (PHS)	フェイズ効果を作り出します。
VINTAGE PHASER (VPH)	70 年代に生産された MXR PHASE90 をモデリングしています。
CLASSIC VIBE (CVB)	Uni-Vibe をモデリングしています。

モード	説明
VIBRATO (VIB)	ユニークな効果を持つビブラートです。
TREMOLO (TRM)	音量を周期的に変えるエフェクトです。
ROTARY (ROT)	リアルなロータリー・スピーカーのサウンドを再現します。
AUTO WAH (AWH)	フィルターを周期的に変化させて、自動的にワウ効果を得ることができます。
SLICER (SLI)	サウンドを周期的にカットして、多彩なスライス・パターンを作り出します。
OVERTONE (OVB)	新たな倍音を加えて原音にない響きと厚みを作り出します。

6 PARAM [1] ~ [3] つまみ

パラメーターを設定します。パラメーターはモードごとに異なります。

[RATE] つまみを押しながら [DEPTH]、[E. LEVEL]、PARAM [1] ~ [3] つまみを回すと、値を変えながらパラメーターの名称（省略形）がディスプレイに表示されます。

モード	PARAM 1	PARAM 2	PARAM 3
CHORUS (Chorus)	SWE (SWEETNESS) 値を大きくするほど、より包み込まれるようなサウンドになります。	LCF (LOW CUT FREQUENCY) 低音域の音質を調節します。	HCF (HIGH CUT FREQUENCY) 高音域の音質を調節します。
CE-1 CHORUS (CE1)	TYPE (TYPE) Chorus : CE-1 のコーラス・サウンド Uib : CE-1 のビブラート・サウンド	LL (LOW LEVEL) 低音域の音質を調節します。	HL (HIGH LEVEL) 高音域の音質を調節します。
FLANGER (FLD)	RES (RESONANCE) レゾナンス量（フィードバック）を調節します。	MAN (MANUAL) 効果をかける中心周波数を調節します。	LCF (LOW CUT FREQUENCY) 設定された周波数より低い周波数成分をカットします。 FLt (FLAT) に設定するとロー・カット・フィルターはかかりません。
PHASER (PhS)	RES (RESONANCE) レゾナンス量（フィードバック）を調節します。	MAN (MANUAL) 効果をかける中心周波数を調節します。	LCF (LOW CUT FREQUENCY) 設定された周波数より低い周波数成分をカットします。 FLt (FLAT) に設定するとロー・カット・フィルターはかかりません。
VINTAGE PHASER (UPh)	TYPE (TYPE) Thru (THRU): フェイザーのみのサウンドです。 Crh (CRUNCH): 歪みを加えます。	DRV (DRIVE) Crh (CRUNCH) を選んだときの音の歪み具合を調節します。	TONE (TONE) Crh (CRUNCH) を選んだときの音質を調節します。

モード	PARAM 1	PARAM 2	PARAM 3
CLASSIC VIBE (CLB)	TYPE (TYPE) THR (THRU) : フェイザーのみのサウンドです。 FU2 (FUZZ) : 歪みを加えます。	DRIVE (DRIVE) FU2 (FUZZ) を選んだときの音の歪み具合を調節します。	TONE (TONE) FU2 (FUZZ) を選んだときの音質を調節します。
VIBRATO (VIB)	COLOR (COLOR) 値を大きくするほど複雑な揺れが得られます。	DIRECT/EFFECT BALANCE (DIRECT/EFFECT BALANCE) ダイレクト音とエフェクト音の音量を調節します。	TONE (TONE) 音質を調節します。
TREMOLO (TRM)	TYPE (TYPE) TREMOLO (TREMOLO) : 音量を周期的に変えます。 PAN (PAN) : 左右の音量を交互に変えることにより、ステレオで鳴らしたときに音が左右のスピーカーを飛び交うような効果が得られます (ステレオ出力しないと、思うような効果は得られません)。	WAVEFORM (WAVEFORM) ウェーブの種類を選びます。	TONE (TONE) 音質を調節します。
ROTARY (ROT)	SLOW SPEED (SLOW SPEED) SLOW (SLOW) 時の回転スピードを調節します。	FAST SPEED (FAST SPEED) FAST (FAST) 時の回転スピードを調節します。	ROTOR / HORN BALANCE (ROTOR / HORN BALANCE) ホーンとローターのバランスを調節します。
AUTO WAH (ABH)	RESONANCE (RESONANCE) 基準周波数付近のワウ効果のかかり具合を調節します。	FREQUENCY (FREQUENCY) ワウ効果の基準周波数を決めます。	FILTER TYPE (FILTER TYPE) LPF : ロー・パス・フィルターです。低い音域だけを通します。 HIPF : ハイ・パス・フィルターです。高い音域だけを通します。 BPF : バンド・パス・フィルターです。特定の音域だけを通します。

各部の名称とはたらき

モード	PARAM 1	PARAM 2	PARAM 3
SLICER (SL)	<i>PtN</i> (PATTERN) 音を刻むスライス・パターンを選びます。	<i>Atk</i> (ATTACK) スライス・パターンのアタックの音量を調節します。	<i>dty</i> (DUTY) スライス・パターンの音の長さを調節します。
OVERTONE (oUt)	<i>LPr</i> (LOWER LEVEL) オクターブ下の倍音を調節します。	<i>uni</i> (UNISON LEVEL) ダイレクト音からわずかにピッチをずらした音を加える音量を調節します。	<i>uPr</i> (UPPER LEVEL) オクターブ上の倍音を調節します。

7 [TAP DIVISION] ボタン

BPM に対する音符の長さでレイトを設定します。

誤操作を防ぐ (パネル・ロック)

[TAP DIVISION] ボタンの長押しで、つまみとボタンの操作を有効 (アンロック) にするか/無効 (ロック) にするかを切り替えることができます。

ロック中に操作をすると、ディスプレイに **[LCK]** と表示されます。

8 TAP DIVISION インジケーター

ペダルを踏む間隔を 4 分音符 (100%) として、レイトを音符で表示します。

TAP DIVISION インジケーター					説明
。	♪	♪	♪	TRI	
✓					全音符 (25%)
✓				✓	3 連全音符 (38%)
	✓				2 分音符 (50%)
	✓			✓	3 連 2 分音符 (75%)
		✓			4 分音符 (100%)
		✓		✓	3 連 4 分音符 (150%)
			✓		8 分音符 (200%)
			✓	✓	3 連 8 分音符 (300%)

9 [MEMORY] ボタン

メモリー (MANUAL、1 ~ 127) の切り替えや保存をします (P.10)。

[MEMORY] ボタンを押すたびに、メモリーが切り替わります。また、[MEMORY] ボタンを押したまま [RATE] つまみを回してもメモリーを切り替えることができます。

10 MEMORY インジケーター

選択中のメモリーを表示します。

メモリー 5 ~ 127 が選ばれていると、インジケーターが消灯します。

11 [ON/OFF] スイッチ

エフェクトをオン/オフします。

12 [MEMORY/TAP] スイッチ

メモリーを切り替えます (P.10)。

[MEMORY/TAP] スイッチの長押しで、タップ・モードになります。

演奏曲のテンポに合わせてスイッチを押すと、演奏曲とタイミングの合った揺れの速さを設定することができます。

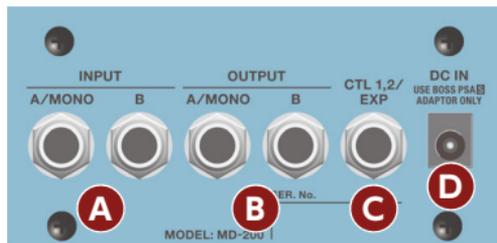
モードが ROTARY のときは、スピーカーの回転スピーカーを切り替えます。

メモ

フットスイッチの機能は、「*FFC*」 (MEMORY FUNCTION) で切り替えることができます。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りに、すべての機器の電源を切ってください。



A INPUT (A/MONO、B) 端子

ギター、ベースやエフェクターを接続します。

ステレオ出力のエフェクターを接続するときは A/MONO 端子と B 端子を、モノで使用するときには A/MONO 端子のみを使用してください。

電源を入れる／切る

INPUT A/MONO 端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT A/MONO 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

B OUTPUT (A/MONO、B) 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

モノで使用するときには OUTPUT A/MONO 端子のみを使用してください。このとき、ステレオで入力した音もモノで出力されます。

入出力端子を使ってインサート・ループ機能が使えません (P.13)。

C CTL 1, 2/EXP 端子

CTL 1, 2 端子として使う

フットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、レイトのタップ入力やメモリーの切り替えができます (P.11)。

EXP 端子として使う

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、レイトやエフェクト音の音量などをコントロールすることができます（P.13）。

- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D DC IN 端子

AC アダプター（別売：PSA-100S）を接続する端子です。

- ※ AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100S）を、AC100V の電源で使用してください。
- ※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

サイド・パネル（機器の接続）**E MIDI 端子**

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35）で外部 MIDI 機器に接続します。外部 MIDI 機器を使って本機のメモリーを切り替えることができます。

- ※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

F USB 端子（アップデート専用）

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

- ※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。
- ※ プログラム・アップデート専用です。

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する

エディットしたエフェクトの設定を保存することができます。

1. [MEMORY] ボタンを長押しします。

ディスプレイに「*Mem*」と表示されます。

2. [RATE] つまみを回して、保存先 (MAN、1 ~ 127) を選びます。

[MEMORY] ボタンを押して、保存先を選ぶこともできます。

中止するときには、[TAP DIVISION] ボタンを押します。

3. [MEMORY] ボタンを長押しして、保存先を決定します。

メモリーが保存されます。

※ MANに保存した場合、MODE、DEPTH、E.LEVEL、PARAM 1~3の設定はパネルの値が適用されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. [MEMORY] ボタンを押して、メモリーを選びます。

ボタンを押すたびに、「MAN (マニュアル) → 1 → 2 → 3 → 4 ...127 → MAN...」の順で変わります。

[MEMORY] ボタンを押しながら [RATE] つまみを回しても、メモリーを切り替えることができます。

※ メモリー 5 ~ 127 を選んでいるときは、MEMORY インジケーターが消灯します。

メモ

E&F (EXTENT FROM)、*E&T* (EXTENT TO) (P.14) の設定を変えることで、メモリーの切り替え範囲を設定することができます。

[MAN] (マニュアル) とは?

本機は通常メモリーに保存された設定に従ってエフェクトがかかりますが、MAN (マニュアル) を選ぶとパネル上のつまみの位置でエフェクトがかかります。この場合もレイトと TAP DIVISION は MAN にライトした設定 (変更可能) が呼び出されます。

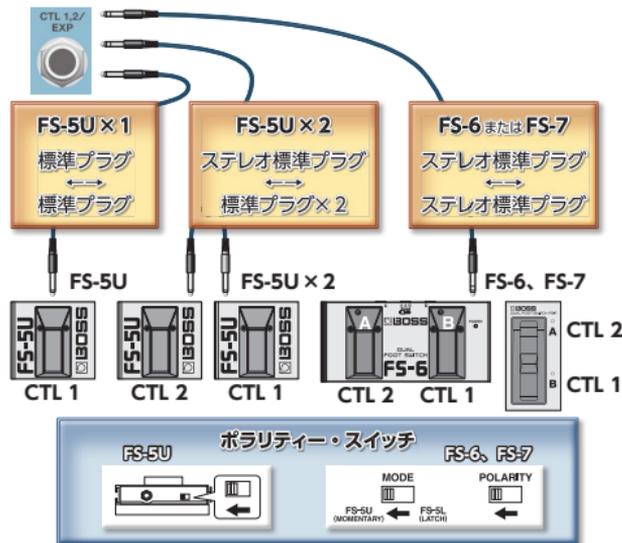
全体の設定をする (メニュー)

基本操作

1. [TAP DIVISION] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。
メニュー・モードに入ります。
2. [RATE] つまみを回してパラメーターを選び、
[RATE] つまみを押します。
値が表示されます。
3. [RATE] つまみを回して、値を変えます。
4. [RATE] つまみを押します。
5. [TAP DIVISION] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。
メニュー・モードから抜けます。

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 1, 2/EXP 端子にフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、レイトのタップ入力やメモリーの切り替えができます。メニューの「[IF]」または「[2F]」で設定します (P.12)。



メニュー・パラメーター一覧

MEMORY マークについて

- 「メモリーに保存する」(P.10)の操作でメモリーごとに設定、保存することができます。この操作をしないと、メモリーを切り替えたときに失われます。
- プリファレンス (SWP/MEP/C1P/C2P/EPP) を MEM (MEMORY) に設定しておく、メモリーごとに設定/保存することができます。保存するときは、「メモリーに保存する」(P.10)をご覧ください。SYS (SYSTEM) に設定するを本機共通の設定になります。ファンクションの設定は自動的に保存されます。

パラメーター	説明
MEMORY t h d (TEMPO HOLD)	OFF :メモリーのテンポ/レイトで動作します。 ON :直前のメモリーのテンポ/レイトで動作します。

パラメーター	説明
MEMORY S5F (ON/OFF SWITCH FUNCTION)	[ON/OFF] スイッチ、[MEMORY/TAP] スイッチ、CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。 ※ スイッチによって、割り当てられる機能が異なります。 OFF :動作しません。 S5 (ON/OFF SWITCH) :エフェクトをオン/オフします。
MEMORY n f c (MEMORY SWITCH FUNCTION)	MOMENT (MOMENT) :スイッチを踏んでいる間だけエフェクトがオンになります。 MANUAL (MANUAL) :MANUAL 設定を選びます。 n-1 (MEMORY 1) ~ n-9 (MEMORY 9) :MEMORY 1 ~ 9 を選びます。 n 10 (MEMORY 10) ~ n 99 (MEMORY 99) :MEMORY 10 ~ 99 を選びます。 n 100 (MEMORY 100) ~ n 127 (MEMORY 127) :MEMORY 100 ~ 127 を選びます。
MEMORY [I F (CTL1 FUNCTION)	MEMORY UP (MEMORY UP) :MEMORY EXTENT の設定に従って、メモリー・ナンバーが増加します。スイッチを長押しすると、タップ・テンポとして動作します。 MEMORY DOWN (MEMORY DOWN) :MEMORY EXTENT の設定に従って、メモリー・ナンバーが減少します。スイッチを長押しすると、タップ・テンポとして動作します。
MEMORY [2 F (CTL2 FUNCTION)	MEMORY UP, ON/OFF (MEMORY UP, ON/OFF) :MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが増加します。スイッチを長押しすると、エフェクトをオン/オフします。 MEMORY DOWN, ON/OFF (MEMORY DOWN, ON/OFF) :MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが減少します。スイッチを長押しすると、エフェクトをオン/オフします。 TAP TEMPO (TAP TEMPO) :タップ・テンポとして動作します。

パラメーター	説明
EPF (EXPRESSION FUNCTION)	CTL 1, 2/EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。 OFF: 動作しません。 RATE (RATE): [RATE] つまみと同じ動作をします。 DEPTH (DEPTH): [DEPTH] つまみと同じ動作をします。 E.LVL (E.LEVEL): [E.LEVEL] つまみと同じ動作をします。 PARAM1 (PARAM1): [PARAM 1] つまみと同じ動作をします。 PARAM2 (PARAM2): [PARAM 2] つまみと同じ動作をします。 PARAM3 (PARAM3): [PARAM 3] つまみと同じ動作をします。
EPn (EXPRESSION MIN)	MEMORY
EPN (EXPRESSION MAX)	MEMORY
	EXPRESSION FUNCTION でコントロールするパラメーターの可変範囲を設定します。可変範囲はパラメーターによって異なります。

パラメーター	説明
ILP (INSERT LOOP POSITION)	MEMORY
	外部エフェクターを接続する場所を選びます。 OFF: インサート・ループ機能を使いません。 PRE (PRE): MD-200 のエフェクトの前に接続します。 POST (POST): MD-200 のエフェクトのあとに、接続します。
	Guitar → 外部エフェクト → MD-200 → AMP Guitar → MD-200 → 外部エフェクト → AMP
	インサート・ループ機能
	OUTPUT A/MONO 端子と INPUT B 端子の間に外部エフェクターを接続して、MD-200 のエフェクトを組み合わせることができます。 エフェクト・タイプにより「歪みの前後」を設定することができます。

全体の設定をする(メニュー)

パラメーター	説明
inS (INSERT LOOP SWITCH)	インサート・ループ機能をオン/オフします。 oFF 、 oN
SBP (ON/OFF SWITCH FUNCTION PREFERENCE)	
MEP (MEMORY SWITCH FUNCTION PREFERENCE)	MEM (MEM) :メモリーの設定が有効になります。
CT1P (CTL1 FUNCTION PREFERENCE)	SYS (SYS) :メモリーにかかわらずコントローラーの機能が一定になります。
CT2P (CTL2 FUNCTION PREFERENCE)	
EPP (EXPRESSION FUNCTION PREFERENCE)	
EXT F (EXTENT FROM)	メモリーの切り替え範囲 (MEMORY EXTENT FROM ~ TO) を設定します。
EXT T (EXTENT TO)	MAN (MANUAL) 、 M-1 (MEMORY 1) ~ M27 (MEMORY 127)
GRB (GUITAR/BASS MODE)	FLANGER、PHASER、AUTO WAHの特性を設定します。 Gtr (Guitar) :ギターに適した設定です。 BAS (Bass) :ベースに適した設定です。

パラメーター	説明
CHd (CHORUS CONTROL MODE)	モードとして CHORUS、CE-1 CHORUS を選んだときの、E.LEVEL のはたらきを設定します。 ELU (EFFECT LEVEL) に設定すると、ダイレクト音とエフェクト音のバランスを調節します。 TL (TOTAL LEVEL) に設定すると、ダイレクト音とエフェクト音を合わせた音量を調節します。このとき、ダイレクト音とエフェクト音のミックス比は 1 : 1 になります。
rCh (MIDI RECEIVE CHANNEL)	MIDI 受信チャンネルを設定します。 「oFF」に設定すると、MIDI メッセージを受信しません。 1 ~ 16 、 oFF
tCh (MIDI TRANSMIT CHANNEL)	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「oFF」に設定すると、MIDI メッセージを送信しません。 ※ RECEIVE に設定すると、受信チャンネルと同じになります。 1 ~ 16 、 rCh (RECEIVE) 、 oFF
Pin (PC IN)	プログラム・チェンジを受信するか (oN) しないか (oFF) を設定します。

パラメーター	説明					
Pout (PC OUT)	プログラム・チェンジを送信するか (on) しないか (off) を設定します。					
	メモリーとプログラム・ナンバーの対応					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メモリー</th> <th>プログラム・ナンバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MAN</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>MEMORY 1 ~ 127</td> <td>2 ~ 128</td> </tr> </tbody> </table>	メモリー	プログラム・ナンバー	MAN	1	MEMORY 1 ~ 127
メモリー	プログラム・ナンバー					
MAN	1					
MEMORY 1 ~ 127	2 ~ 128					
Cci (CC IN)	コントロール・チェンジを受信するか (on) しないか (off) を設定します。 CCを受信すると、つまみやフットスイッチと同じ操作をMIDIでコントロールできるようになります。					
Cco (CC OUT)	コントロール・チェンジを送信するか (on) しないか (off) を設定します。					

パラメーター	説明
rte (RATE CC)	
dpc (DEPTH CC)	
elc (E.LEVEL CC)	
P1c (PARAM1 CC)	
P2c (PARAM2 CC)	
P3c (PARAM3 CC)	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
Sbc (ON/OFF SWITCH CC)	off、1 ~ 31、64 ~ 95
MEc (MEMORY CC)	
C1c (CTL1 CC)	
C2c (CTL2 CC)	
Epc (EXPRESSION CC)	
Efc (EFFECT ON/OFF CC)	
Syn (SYNC)	どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。 int (INTERNAL) : 内部テンポに同期します。 Aut (AUTO) : 通常は内部テンポで動作しますが、MIDI IN 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。 MD-200 をスレープにする場合は「Aut」に設定します。

全体の設定をする(メニュー)

パラメーター	説明
r t 5 (REALTIME SOURCE)	MIDI OUT 端子に出力するリアルタイム・メッセージのソースを設定します。 r n t (INTERNAL) :内部リアルタイム・メッセージをソースにします。 n i d (MIDI) :MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
n t h (MIDI THRU)	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま MIDI OUT 端子から送信するか (o n) 送信しないか (o f f) を設定します。
P 1 ~ P 9 (P1 ~ P9)	受信するプログラム・ナンバーに対するメモリーを設定します。バンク・セレクトは無視(関係なく受ける)します。 「 o f f 」に設定すると、エフェクトがオフになります。 o f f 、 n n n 、 n - 1 ~ n . 2 7
P 1 0 ~ P 9 9 (P10 ~ P99)	
P . 0 0 ~ P . 2 8 (P100 ~ P128)	

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

MD-200 を工場出荷時の設定に戻します。

1. [ON/OFF] スイッチと [MEMORY/TAP] スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A/MONO 端子にプラグを挿します)。

ディスプレイに「F L t」と表示されます。

2. [MEMORY/TAP] スイッチを押します。

ディスプレイに「5 u r」と表示されます。

中止するときは、[MEMORY] ボタンを押します。

3. [MEMORY/TAP] スイッチを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

4. ディスプレイに「F in」と表示されたら、電源を入れ直します。

電池交換のしかた

図のように、向きに注意して電池を入れます。

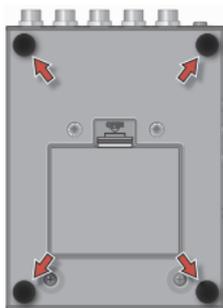
- ※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- ※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- ※ 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、ACアダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードやACアダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』『安全上のご注意』(『安全上のご注意』チラシ)に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとディスプレイに「L o」と表示されます。新しい電池と交換してください。



ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。
 ゴム足は図の位置に貼り付けます。

※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

BOSS MD-200 : モジュールション

電源	アルカリ電池（単3形）×3、ACアダプター（別売）
消費電流	225mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池：約4時間 ※使用状態によって異なります。
外形寸法	101（幅）×138（奥行）×63（高さ）mm（ゴム足を除く） 101（幅）×138（奥行）×65（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量	680g（電池を含む）
付属品	「取扱説明書の入手方法」チラシ 「安全上のご注意」チラシ アルカリ電池（単3形）×3 ゴム足×4 保証書
別売品	ACアダプター：PSA-100S フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはロランド・ホームページをご覧ください。

注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品
ゴム足 (P.18)
-

その他の注意について

- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 本製品には、第3者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。